



たまがわ

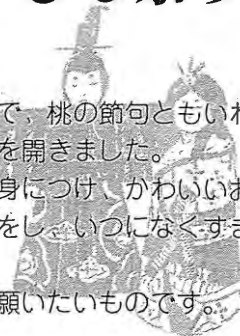


今日は 楽しいひな祭り

3月3日はひな祭り。女の子のお節句で、桃の節句ともいわれます。ここ保育所でも今日は楽しいひな祭り会を開きました。

お内裏さまと三人官女の衣装を交替で身につけ、かわいいおひなさまの出来あがり。段の上で行儀よくお座りをして、いつになくすまし顔の子供たち。

次代を担う子供たちに健やかな成長を願いたいものです。



'85

3

NO. 223

昭和60年度

転作目標面積は80ヘクタール

一般転作から他用途利用米への調整も

水田利用再編対策は、米の生産を計画的に調整するとともに、稲から麦、大豆などの自給力の高い作物への転換や農業生産性の向上を図る目的で昭和五十三年からスタートした事業です。

昭和五十九年度の転作等は、農家の皆さんのご協力によりまして目標転作面積の割当を達成することができました。

六十年度は第三期対策の二年目であり、県から昨年と同じ八〇ヘクタールの転作目標面積が配分されました。

これに伴い、このほど水田利用再編対策協議会が開かれ、転作の推進目標や重点事項などを審議検討し、地区別における転作面積の配分や他用途利用米の配分などが決まりました。今月は、それらの概要についてみなさんにお知らせします。

転作率は十三・〇二パーセント

村における昭和六十年年度第三期転作等の目標面積は、村全体の水田耕作面積の約十三・〇二パーセントにあたる八〇ヘクタール。その内訳は、一般転作（大豆・カボチャなどの作物）目標面積が七十二ヘクタール。これは前年度対比で四ヘクタールの減。

また、土地改良通年施行は七ヘクタール（蒜生地区の国営開墾事業及び北須釜と山小屋地区の団体

他用途利用米は八四九俵

他用途利用米は、五十九年度からスタートし、みそ、せんべいなどの原材料となる加工用米のこと

ですが、今年も昨年に引続き推進することになりました。

県から内示を受けた今年他用途

また、水田機能の活用と収益性の高い転作を図り、今まで奨励していた青刈り稲の解消に努め、各農家に配分された一般転作目標面積を他用途利用米に振替えて対応することもできます。

収益性の高い転作の奨励

と、転作別にそれぞれ奨励補助金がつきます。

(表Ⅲを参照)

②…転作をせずに十アールに水稲を作付した場合は、それに対応する俵数(七・五俵)を他用途米として出荷することによって転作の実施面積とみなされます。

①…大豆や野菜などを転作物として十アールに作付する

※転作目標面積から他用途米への振替対比は表Ⅱを参考にしてください。

(表Ⅰ) 地区別転作目標面積及び他用途利用米配分表

地区名	配分目標面積	他用途利用米配分量(30kg)
川辺	1,500 ^a	358 ^b
蒜生	226	—
小高	815	167
中	640	140
岩寺	742	165
竜崎	833	200
南須釜	899	222
北須釜東	356	81
北須釜西	347	88
吉	399	111
山小屋	277	44
河平	90	18
四辻新田	183	39
青井沢	142	37
大井沢	107	28
合計	7,556	668

(表Ⅱ) 転作目標面積から他用途利用米への振替対比表

転作目標面積	泉(須釜)
1 ^a	1(1) ^b
2	1.5(1.5)
3	2.5(2.5)
4	3(3)
5	4(4)
6	4.5(4.5)
7	5.5(5)
8	6(6)
9	7(6.5)
10	7.5(7.5)
11	8.5(8)
12	9(9)
13	10(9.5)
14	10.5(10.5)
15	11.5(11)
16	12(11.5)

(表Ⅲ) 10^a当りの転作別奨励補助金

区分	奨励補助金 ^円	
特定作物(大豆、麦、飼料作物など)	39,000	
一般作物	小豆、たばこなど	24,000
	かぼちや、きゅうり、トマトなど	19,000
土地改良通年施行	19,000	

計画書の提出は三月二〇日まで

六十年年度の水田再編対策事業を円滑に進め、みなさんのご協力を得るため、産業課では各地区に向き、説明会及び座談会を設けます。また推進協議員の方々が、地域の農家を個別訪問しますので、一般転作と他用途米の調整を十分検討して、昭和六十年年度の転作実施計画書を三月二〇までに提出してください。よろしくお願ひします。

なお、水田利用再編対策に関する詳しいことは、役場産業課(☎三三〇一内線四二)までお問い合わせください。

県学校新聞コンクール

須釜中

「須中タイムス」が最優秀賞(謄写の部)
優れた紙面づくりで高い評価

小中学校の学校新聞などのレベルアップを目的に、毎年開かれていた県小中学校新聞コンクールで、須釜中学校が発行した「須中タイムス」が謄写の部で見事、最優秀賞に輝き、このほどその伝達式が

行われ、学校では喜びに湧いています。このコンクールは、福島県新聞社主催で今年は二十回目。回を重ねるごとに優れた作品が寄せられており、今回は、活版と謄写の部あわせて五百四十四点の、応募



学校新聞で最優秀に輝いた須釜中新聞部のメンバー

作品から選ばれたものです。作品は、一カ月だけを応募するのではなく、一月から十一月までに発行した新聞すべてが審査対象となり、見出しのつけ方、レイアウトの仕方、記事の内容や文章にポイントが置かれる審査の厳しいものです。初挑戦のつもりで応募した新聞が思ってもみなかった最優秀賞を獲得。この朗報に部員をはじめ、顧問の下田先生も最初信じられなかったとのこと。現在、一年生から三年生まで各学級から選ばれた新聞部員は十三名。部員はそれぞれ学級新聞の発行を兼ねているので、編集に携わるのはほとんど三年生だけ。その月のトップニュースを軸に主張の欄を設けたり、学級訪問や編集後記などふんだんに読ませる工夫がしてあり、中学生らしい着眼と発想で読者を引きつける要素が満載といった感じ。生徒間だけでなく、父兄にもなかなかの好評で文字どおり、「読者の新聞」としての評価も得ています。すでに編集の主力メンバーも三年生から二年生にバトンタッチをし、同時に引き継いだ編集技術とやる気で、読まれ、役立ち、親しまれる新聞づくりをと意欲的に取り組んでいます。

村民囲碁、将棋大会

チビッ子も日ごろの腕競う



じっくり相手の手を読んで

新春恒例の村民囲碁、将棋大会が一月二十七日、午前八時三〇分から就改センターの大広間で開催されました。会場には小学生のチビッ子からお年寄りまで愛好者約六〇人が参加し、親睦を深めながら日ごろの腕を発揮しました。今回は小学生の申込みが多かったため一般の部のほかに小学生の部も登場。組み合わせが決まると早速「お願いします」の声が始まり、盤上で熱い火花を散らしました。

● 囲碁の部

- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| A 級 | 一位 塩沢正勝 | A 級 | 一位 倉鎌貴志 |
| 二位 安藤直三郎 | 二位 森健次 | 二位 太田秀司 | |
| 三位 添田義一 | 三位 鈴木博美 | 三位 小林栄 | |
| B 級 | 一位 林三喜人 | 一位 高里正博 | |
| 二位 三吉隆之 | 二位 双里正博 | 二位 野崎重光 | |
| 三位 我妻隆一 | 三位 高慶文雄 | 三位 須藤光久 | |
| 小学生の部 | | B 級 | 一位 野崎重光 |
| 将棋の部 | | 二位 関根光之 | |
| A 組 | 一位 石井和男 | 二位 須藤光久 | |
| 二位 倉鎌秀志 | | 三位 関根光之 | |
| 三位 遠藤剛 | | | |
| B 組 | 一位 三吉隆生 | C 級 | 一位 小林栄 |
| 二位 三吉隆生 | | 二位 本田栄 | |
| 三位 三吉隆生 | | 三位 小林栄 | |

待ち遠しいなあ入学式 春を待つ百十七名



ぼくたちが作ったんだよ！(もうすぐ1年生のいずみ幼稚園の子供たち)

もうすぐ春です。新入学のお子さんをお持ちの家庭では、入学の準備に追われていることでしょう。真新しいランドセルを背負い、ピカピカの一年生が誕生するのももう間近ですね。

今年の新入学児童は昨年より七名少ない百十七名。昭和五十三年四月二日から昭和五十四年四月一日までに生まれた子供たちです。元気いっぱい入学式を迎えるためにも交通事故や風邪には気をつけましょう。なお、名前がもれていたりなど不備な点がある時には、役場教育委員会までご連絡ください。

川辺小学校 (14名)

- 〔川 辺〕 須藤孝之(利夫) 川崎 聖仁(聖幸) 関根誠(照雄) 鈴木 友和(栄吉) 小原公太(武夫)
- 大和田治樹(茂) 須藤賢二(一夫) 矢部孝雄(義雄) 大竹伸一(俊夫)
- 山崎勝枝(勝義) 佐藤愛子(子一) 目黒広子(廣行) 鈴木裕子(佳三)
- 矢部めぐみ(忠男)

玉川第一小学校 (59名)

- 〔藤 生〕 真弓幸夫(喜重) 真弓 保仁(保一) 添田枝利(宗良)
- 曲山和江(正一) 西牧敏美(正巳) 佐藤しのぶ(一男) 溝井恵(勝義)
- 真弓知子(時伸)
- 〔小 高〕 須藤恵美(重正) 溝井 悦子(源二) 石井恵子(金六)
- 藤田貴裕(守) 白澤恵美子(松雄)
- 車田彰啓(長市郎) 車田裕器(永

()内は保護者です。

- 勝) 添田千秋(祐一) 加藤沙織
- 〔利雄〕 橋本典夫(雄次) 車田貴 洋(清利) 車田勝律(勝一) 国井 文恵(文雄) 木田美穂(伊八)
- 石井弥和子(源三郎) 黒須紀子
- 〔誠〕 溝井三子(正二郎) 溝井 敦子(守一) 溝井美和(富栄)
- 関根章弘(秀勝)
- 〔中〕 永林明子(昭) 永林貞信
- 〔貞久〕 山内美佳(保政) 岩谷利 行(利平) 小針鶴千代(清志)
- 吉田正芳(美喜男) 小林正朋(功)
- 小林祐子(和己)
- 〔岩法寺〕 吉田利江(為治) 村越 丈美(正憲) 草野敏史(義房)
- 大竹一誠(初夫) 菊地優子(正勝)
- 佐久間義人(義雄)
- 〔竜 崎〕 滝口友美(二夫) 上野 幸男(正治) 小林久美(久二夫)
- 小林 信(昭夫) 鈴木智恵(忠雄)
- 小林弓子(伸一) 石井勇寿(清春)
- 森昌則(隆太郎) 石山直裕(晴雄)

須釜小学校 (41名)

- 〔南須釜〕 宗形 久(徳次) 有賀 秀和(隆幸) 齊藤真由美(昭夫)
- 近内勝子(正治) 阿部要一(喜代 徳) 大野久美子(重和) 石森さと み(一夫) 大野晴子(健一) 佐久 間広明(正徳) 小原優(和威)
- 我妻伸一(一夫) 阿部誠(金四郎) 大野清隆(清人) 小原純(辰美)

四辻分校 (3名)

- 〔南須釜〕 小原正江(清) 鈴木志 保(邦雄)
- 〔四辻新田〕 渡邊篤志(利秋)



- 小林まゆみ(健一) 湯沢康太(康 雄) 鈴木美紀(庄三) 小林明美 幸一) 小林美穂(正) 上野春江
- 〔正吉〕 小林秀明(八郎) 小林旭 (正幸)

- 塩沢裕史(正勝) 小原保宏(吉次)
- 大越紀幸(幸久) 塩沢茂(元一)
- 〔北須釜〕 榊枝裕子(義二) 榊枝 明美(一夫) 矢吹美幸(重美)
- 草野旭(正美) 榊枝淳(金徳)
- 関根裕美(勝一) 草野修(新一)
- 渡邊尚(良友) 関根裕司(ハナコ)
- 草野京子(安二) 渡邊威(利男)
- 榊枝純子(佐一)
- 〔吉〕 境田孝伸(孝夫) 近内信 和(正雄) 鈴木悦美(喜一) 森隆 義(安隆) 佐藤信子(義寿)
- 〔山小屋〕 石森幸子(チヨ)
- 石森洋幸(和二) 石森光一(三男)
- 石森信二(博信) 石森春光(力男)
- 〔山新田〕 真野目まき(正昭)

人口動態調査にご協力を

厚生省では人口動態調査を毎年実施しています。この調査は皆さんからの出生、死亡、死産、婚姻、離婚の各届書をもとに人口の動きを調べるものですが、国勢調査の行われる年だけは、そこに職業名を記入していただくことになっていきますのでご協力ください。

六十二年三月三十一日までの一年間。
△調査対象者▽
出生・死亡・死産・婚姻・離婚届を出される方々。
△調査方法▽
各届書を出すときに、それぞれ職業名を記入していただきます。

△調査期間▽
昭和六十年四月一日から昭和

職業を書くときは、備えつけの内容例示表がありますので参考にして記入してください。
(住民課戸籍係)



四月から新しい保険証 忘れずに交換しましょう

国民健康保険に加入している皆さんが、現在お持ちの「保険証」(国民健康保険被保険者証及び退職被保険者証)は、三月いっぱいまで有効期限が切れ、四月から新しい保険証になります。

保険証の交付日程

月日	地区名	時間	場所
3/28 (木)	吉	午前9時～午前10時	吉公民館
	山小屋 千五半 小狸穴・滝作	午前10時30分～午前11時30分	山小屋公民館
	四河大 井沢・館	午後1時30分～午後2時30分	四河農業研修所
3/29 (金)	蒜中 小高	午前9時～午後4時30分	玉川村役場
	南須 北須	同上	須釜公民館
3/30 (土)	川辺	午前9時～午前11時	川辺公民館
	岩法寺	午後1時30分～午後2時30分	岩法寺公民館
	竜崎	午後3時～午後4時	竜崎公民館

保険証の交換は下記の日程で行いますので、家族に転入、転出や社会保険に加入したり、離脱した場合など異動のある方は、早目に手続きを済ませてください。
なお、交換しない保険証では四月からは使えなくなりしますので注意してください。

保険料を前納すると割引されます

国民年金の保険料は、三月か月ごとに納める期限が決まっていますが、「納めたつもりが納めていなかった」などで、うっかり納め忘れてしまうと「年金が受けられない」ということがあります。
また、保険料を納期の都度納めるのが面倒だという

割引されます

国民年金の保険料は、三月か月ごとに納める期限が決まっていますが、「納めたつもりが納めていなかった」などで、うっかり納め忘れてしまうと「年金が受けられない」ということがあります。
また、保険料を納期の都度納めるのが面倒だという

△前納保険料額▽ ▽定額保険料

(昭和六十年四月から六十年三月まで)
七八、九三〇円

△前納保険料額▽
△定額+付加保険料
(昭和六十年四月から六十年三月まで)
八三、六一〇円

△前納保険料額▽
△定額+付加保険料
(昭和六十年四月から六十年三月まで)
八三、六一〇円

△前納保険料額▽
△定額+付加保険料
(昭和六十年四月から六十年三月まで)
八三、六一〇円

△前納保険料額▽
△定額+付加保険料
(昭和六十年四月から六十年三月まで)
八三、六一〇円

△前納保険料額▽
△定額+付加保険料
(昭和六十年四月から六十年三月まで)
八三、六一〇円

忘れていませんか 愛車の住所変更

自動車をお持ちのみなさん、あなたの愛車の住所は、陸運事務所に登録してある車検証の住所です。
転居した場合、住民票を移したからといって車検証の住所は一緒に移りませんので、忘れずに住所変更の登録をしましょう。
また、所有していた車を転売したり、解体したりした方は、忘れずに三月中に陸運事務所へ移動、かつ消登録を済ませてください。
なお、自動車税についての詳しいことは郡山県税事務所(☎〇二四九-二三三六一六)におたずねください。



税だより 所得税の申告と納税は 三月十五日まで

昭和五十九年分の所得税の申告と納税はもうお済みでしょうか。申告をしなければならぬ人が申告しなかったり、間違った申告をしますと、後で不足の税金を納めるだけでなく、加算税や延滞税も納めなければならぬことになります。
所得税の申告と納税は、必ず三月十五日までに済ませましょう。



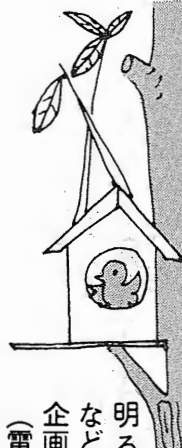
3月17日オープン
科学万博
つくば'85

「人間・居住・環境と科学技術」をテーマに、茨城県・筑波研究学園都市で開かれます。開催期間は昭和60年3月17日から9月16日までの半年間。
入場料は次のとおりです。

大人	二千七百円(満二十歳以上)
中人	千四百円(満十歳以上二十歳未満)
小人	七百元(満四歳以上十五歳未満)

EXPO'85
コスモ星丸

話題の広場



明るい話題や催しなどがあるときには企画課まで。
(電 三二〇二)

彼岸花づくりに励む 榊枝さん一家

北須釜字三蔵の榊枝義二さん一家が、年明けとともに始めるのが彼岸花づくり。
以前は、冬の手内職として彼岸

花づくりをする農家は何軒かあったそうだが、手間がかかる割には採算がとれないなどの理由で現在は榊枝さん一軒だけが生産しています。
かんなす。
鈍かけ、色染め、乾燥。そして一枚一枚竹串に刺してゆくとという工程を繰り返して、冬に約一万本近い彼岸花を生産し、そのほとんどが委託販売ですが、時には注文も。



1本1本がすべて手作業 (カネさんと輝子さん)

この根気のいる手仕事を中心となつてやっているのが九十歳のカネさん。花つくり七〇年のキャリアで、赤、紫、黄、ぼたん色とあざやかな色とりどりの花を咲かせてゆきます。
この彼岸花が墓地に飾られると、野山に花の便りが聞かれるようになり、本格的な春の到来です。

米を使った料理教室開催

米消費拡大推進協議会主催の米を使った料理講習会が二月九日、就改センターで開かれ、婦人会や農協婦人部の呼びかけに、家庭の主婦ら三〇人が参加しました。

今回のメニューは中華風親子。井物に初挑戦した参加者からは「井物というとうりしても敬遠しがち。コツを覚えると簡単にできるうえ豪華に見えるので、来客の際の一品にしたい」などの声も。
作った後は全員で試食し、味のほどを批評しあいました。



こんな具合に……

楽しかったスキー教室

玉川スキークラブ主催のスキー教室が二月二十四日、猪苗代にある磐梯国際スキー場で開催されました。
この教室には小学生を含めたスキー愛好者ら三十五名が参加しました。

指導にあたったのはスキークラブ員四名。姿勢やひざの使い方などポイントをつかんだ個人ごとの指導でメキメキ上達。
雪のコンディションも良く、参加した人たちは親睦を深めながら白銀の世界で楽しいひとときを過ごしました。



スキーの楽しさ満喫

武道池に 白鳥飛来

川辺字武道池に二月上旬から五羽の白鳥が飛来しており、一カ月経った現在も水面を仲良く泳いでいる光景が見られます。
白鳥の飛来はここ数年来見られなかったことで、新しい「冬の名所」と期待する人も。
最初、用心深く、岸から離れた白鳥も今ではすっかり慣れてきたようです。白鳥がいることを聞きづてに知って、時おりパンくずや野菜くずを持ってきてくれる人もいて、元気にえさをいっぱいんでいます。



飛来した5羽の白鳥

私のヨーロッパ見聞録 最終回

若人の翼に参加して

溝 井 浩 一 (小高)



ワインの味は格別

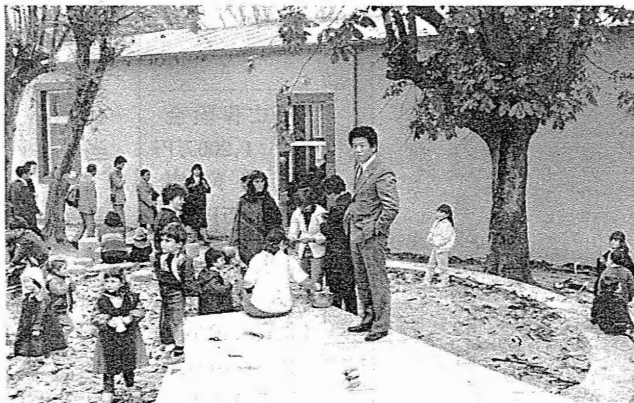
私たちの身の回りには、様々な海外情報があり、テレビ、ラジオ、海外ガイドブック等から、海外へ自ら出かけなくても、海外の様子を知ることができ。しかし、反面これだけ情報が発達しても、そのおおよそからでは、真のものを描えることは難しくなっていると思われる。私もはじめから海外に興味があったわけではなく、今回海外へ飛ぶ機会に恵まれ目的を持って見聞してきました。

第一は絵ハガキでも見られないものを、見聞することでした。これはどうしても、テレビだけに頼りすぎると良いところや画面に映ったところのみになってしまおうという理由からでした。「広報たまかわ」で三回に渡り各国々を訪れての所感とその国の様子などを紹介してきましたが、直接目で見た感じはテレビとは違いまぎに生きている、動いているという実感でした。特にベルリンの壁を目の前にしなければ、ただの壁でしか思わなかったにちがいないし、それら一つにしても、あまりにも無関心だった自分に気づいた。平和という安住の地にどっぶりとつかっていることを思い知らされた気がする。

第二の目的は、ヨーロッパの都市と公園がどのように形成されているのかだった。都市といっても街並みで必ずとっていいいくらい、まず緑が目に入る。建物も規制があるようで、古い建物を大切に保護し、近代的なビルはあまり見られないのが印象的で、古い物を壊したり手を加えたりせず、そのままの状態を維持管理している点がとても新鮮味を感じ、同時に強烈な印象を受けた。

念な気がした。第三の目的は民泊におきました。民泊というホテルで味わえない家庭の雰囲気を知りたかったからである。不安は付きものの、慣れると同時に家庭にこけこむことができ、一番思い出に残る研修となった。ここで思い出されるのが民泊の引き渡しの時に言った団長の「民泊に入るときの団員の様子は、まるで入学試験を受ける時のように緊張と不安でいっぱいであつたが、民泊も終りともなると試験に合格したような笑顔が印象的」のあいさつである。

日本でもテレビ等で騒がれている車のシートベルト問題は、東西ベルリン、イギリス、フランス、どこの国でも、走る車を見ると100%着用しているのには感心した。ベルリンでは、バスの助手席もシートベルトをしなければならぬいし、また、フランスの民泊家庭で聞いたことですが、シートベルトをしないと飲酒運転より重い罪になるとのこと。そこまで徹底している。ガソリンスタンドではセルフサービスで自分で給油をしなければならぬ。日本のようにサービスがゆきとどいているスタンドを利用して私たちは、戸惑いを感じた。



市立保育所を見学 (フランスのプレスト市)

十一月に帰国してから早や四月が過ぎ、日本とヨーロッパを対比すると、やはり住めば都で日本が一番住み良い国というのが実感である。

今回「若人の翼」に参加できたことは、一生心に残る記念となった。この参加のために御協力御支援をいただきましたみなさんに紙上を借りてお礼を申し上げます。

私のこれからの課題は、ここで得た経験や知識をもとに微力ですが地域のために還元できればと思っています。

昭和60年度の「若人の翼」の募集も四月から始まります。あなたも一歩踏み出して飛んでみませんか。

(案内書は無料です)
〒186 東京都国立市富士見台1-5
NHK学園CT係

NHK学園 通信教育で あなたも学習を

NHK学園では、通信教育の生徒。受講生を募集しています。

●高等学校 普通科コース

NHKの放送を利用して、働しながら高校卒業の資格をとりたいう方に
入学資格 / 中学校卒業・卒業見込み又は、同等以上の学力のある方

●高等学校 教養コース
受付期間 / 3月1日～4月15日

●高等学校 レベルの知識と教養を身につけたい方に
受講資格 / 15歳以上の方ならどなたでも

●社会通信講座
この講座は、レポート添削が中心で、だれでも自宅にいながら自分のペースで学べます。

●社会通信講座
講座は書道、硬筆、囲碁、簿記など15講座44コースがあります。

●社会通信講座
受講資格 / どなたでも
受付期間 / 4月20日まで

●社会通信講座
詳しい案内書をご希望の方は、お近くのNHKまたは、左記まで

●社会通信講座
普通コース・教養コース・社会通信講座名と氏名・住所・電話番号を書いてハガキでご請求ください。

お知らせ

電話局から お願い



三月、四月は人事異動などで引越が多い時期です。それにあわせて電話の移転申し込みも多くなります。お客様の希望される日に工事ができるよう、引越予定が決まりましたら、すぐ電話の移転申し込みをお願いします。

石川電報電話局
(☎三三三二一六二〇〇〇)

3月の健康ごよみ

- 2日(土) 母親学級
就改センター 午後9時30分
- 5日(火) 妊婦検診
(西部) 母子センター 午後1時30分
- 19日(火) 妊婦検診
(東部) 母子センター 午後1時30分
- 28日(木) 乳幼児検診 母子センター 午後1時30分

公民館の予定

- 3日(日) 玉川村三者のつどい
於・須釜公民館
- 13日(水) 着付教室
- 27日(水) 着付教室

村のようす (60年2月1日現在)

	1,542戸 (+1)
	7,501人 (+5)
	3,693人 (+2)
	3,808人 (+3)

おめでた (一月届出分)	地区 出生児氏名 保護者名	川辺 須釜睦美 半治	地区 死亡者氏名 年齢 世帯主名	川辺 熊田スイ 61 常与	吉 有賀裕子 照正
	南須釜 竜崎 小林 誠謙	南須釜 小林重次郎 76 長重	南須釜 大野伝吉 76 セツ子	吉 有賀裕子 照正	
	塩沢 弘美 正義	南須釜 大野伝蔵 54 セツ子	南須釜 大野伝蔵 54 セツ子	吉 有賀裕子 照正	
	矢吹 昭人 昭武	南須釜 大野伝蔵 54 セツ子	南須釜 大野伝蔵 54 セツ子	吉 有賀裕子 照正	

毎月一回あなたの親しい方に 広報紙を送りませんか

先月号でお知らせしましたが、昨年引き続き四月から広報紙の村外発送をいたします。

ふるさとを遠く離れている方や知人にあなたから「広報たまかわ」を一年分プレゼントしてほしい

かがですか。ただ今、その受付を行っておりますので希望される方は、三月二十日ごろまでに、送付先の住所と氏名、代金千円を添えて役場企画課に申し込みください。

スポーツ安全協会 万一の時も保険で安心 スポーツ保険に入りませんか



村公民館では、だた今傷害保険の加入を受付しています。趣味と健康を重ねてスポーツ熱は高まるばかり。万一の時も保険に入っていれば安心です。今年から新たに賠償責任保険がプラスされました。一年間の保障期間で、保険料も低額なスポーツ保険にあなたも加入しませんか。

保険料(年額一人当り)

- ①スポーツ活動
 - 中学生以下の子ども…三五〇円
 - ママさんバレーなどの社会人…一、〇四〇円
 - 高度なスポーツの競技者…一、五七〇円
- ②文化、奉仕活動
 - 中学生以下の子ども…三五〇円
 - 社会人、その他一般…四二〇円

保険金額(一人り当)

傷	通院保険金 日額	1,000円
	入院保険金 日額	3,700円
害	死亡保険金	1,200万円
	後遺障害	1,200万円以内
賠償	1事故限度額 対人	5,000万円 (免責 1,000円)
	対物	100万円 (免責 1,000円)

適用の範囲

団体の管理下の活動中の事故
通常の経路往復中の事故

保険期間(有効期間)

毎年四月一日から翌年三月三十一日まで(申込みは三月一日より)

万一事故にあわれた時

受付しています。なるべく早目に公民館の方に連絡してください。その他詳しいことは、公民館(☎三三三二一六二〇〇)にお問い合わせください。

4月1日から 4月20日まで 固定資産課税台帳 が縦覧できます

皆さんの財産の一部である土地と家屋について、毎年三月一日から二〇日まで固定資産課税台帳の縦覧ができることになっていきます。

昭和六〇年度は固定資産の評価替えの基準年度にあたるため、縦覧期間が四月一日から二〇日までに変更になりますのでお知らせします。

(役場税務課)